

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

2019年10月31日

和泉市長 あて

団体名 一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会

代表者名 樽本知子

所在地

電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 ハートフルフェスタ2020
2. 事業の概要 障がいのある方の日頃の活動の成果発表の場と、ゲストを迎え、当事者・支援者・ボランティア・一般の方たちと、ともに創り上げるイベント。
3. 事業費総額 638,000円
(うち、対象経費 618,000円)
4. 交付希望額 300,000円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)
6. 添付書類
(1) 団体概要調書（様式第2号）
(2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
(3) 事業計画書（様式第3号）
(4) 収支予算書（様式第4号）
(5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第5条関係）

団体概要調書

フリガナ	イッパンシャダンホウジン イズミショウガイフクシサービスジギョウ ショダンタイレンゴウカイ		
団体名	一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会		
団体の目的	障がい福祉サービス事業所とその事業所を支える個人や地域の活力を引き出し、泉州福祉圏域の自立的な発展と、障がいのある方やその家族の生活の質の向上を図ることをその使命に掲げ、これにより「共に生きる社会」の実現を担う者として、障がいのある方やその家族、行政と共にその実現に寄与することを目的とする。		
市内事務所の所在地	電 話		F A X
フリガナ	タルモト トモコ		
代表者氏名	樽本 知子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ タムラ ヒデユキ 田村 英之	電 話	
		F A X	()
設 立 年 月	平成27年 7月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (回発行) ・ 無	会員数	20施設
メールアドレス			
ホームページ	http://www.facebook.com/syousaren		
主な事業内容	各種イベントを通じた会員事業所利用者の地域交流や日頃の活動の発表の場づくり、障がいや障がいのある方の理解の啓発、障がいのある方たちの、会員事業所間共通の課題収集と解決、障がい福祉の増進をはかるための意見集約と発信、障がい福祉サービスに従事する人材の育成など。		
主な活動の実績	<p>【ハートフルフェスタ2016】（後援：和泉市、和泉市教育委員会、和泉市社会福祉協議会等 場所：人権文化センター 参加者：486名）</p> <p>【プチハートフルフェスタ2017】（場所：和泉市立コミュニティ体育館 参加者：約400名）</p> <p>【ハートフルフェスタ2019】（場所：和泉シティプラザ弥生の風ホール 参加者：約500名）</p> <p>【和泉きらめきマルシェ2019】（後援：和泉市、大栄環境株式会社 場所：和泉リサイクル環境公園 参加者：約120名）</p> <p>【風船バレーボール大会2018、2019】（場所：和泉市立コミュニティ体育館 参加者：約400名）</p> <p>【和泉市自立支援協議会、施策推進協議会】関係団体機関として参加。</p> <p>【いずみの国観光おもてなし処清掃作業】近畿日本ツーリストより受託。</p>		

	年度	名称	金額 (円)
国・府・市及び各種 団体等からの他の補 助金及び委託実績 (過去3年間の実績 を記載)	28	和泉市いずみの国観光おもて なし処清掃業務	738,387円
	29	和泉市いずみの国観光おもて なし処清掃業務	761,523円
	30	和泉市いずみの国観光おもて なし処清掃業務	113,064円

事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>ハートフルフェスタ2020</p>
<p>事業の必要性</p> <p>*別紙添付可</p>	<p>【事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等】 多様性を認める社会やユニバーサルデザインや合理的配慮などが求められ始めた今、各福祉サービス事業所それぞれでその課題について色々な活動などを通じて頑張っているが、点が線や面にならない状況が続いていて、本当の意味での地域交流などの機会が少ない。</p> <p>【申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果、団体・参加者・地域全体のメリット等】 障がいのある方や障がいについて、社会に誤解をうけるのは、障がいのある方や障がいについて理解されていないから。感動の対象にされるのではなく、自主的に地域へ参加するイベントを開催することで、お互いを知るという目的を共有し、障がいのある方もない方も、支援者もボランティアも分け隔てなく一緒に楽しむ。その中で、時代が必要としている課題に参加者それぞれが取り組め、新しい自分を発見できるということにつながるため。</p> <p>また、和泉市のまちづくりの目標でもある安全・安心の促進や和泉市の目指す将来像にあるスマイル都市への一翼を担うことで、我々の活動が、広く和泉市民の方たちに理解を得られることにつながり、地域へ貢献できることになる。</p>
<p>事業内容</p> <p>*別紙添付可</p>	<p>【主な対象者】 和泉市の一般の方、地域の障がいのある方と支援者とその家族など</p> <p>参加予定者数 500 人</p> <p>【事業実施期間】 11月17日（火）</p> <p>【事業実施場所】 和泉シティプラザ 弥生の風ホール</p> <p>【問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか】 イベントを、障がいのある方やない方とともに創り上げることで、お互いの理解を深めようという試み。 ただイベントを観るだけでなく、一緒に参加できる形にすることで、「理解」へ至るためのコミュニケーションや気づきなどのプロセスを共有できる。多様な人達が、同じものに感動することやつくり上げていく中でお互いを理解することなど「共感」の部分を大切にしたいイベント。</p>

	時期 (月)	内容
事業スケジュール	'19 12	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会議開催、ハートフルフェスタ2019の振り返り
	'20 1	<ul style="list-style-type: none"> ・会場（弥生の風ホール）予約
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いずみ障サ連定例会：2020 実行委員会発足
		<ul style="list-style-type: none"> ・第1回実行委員会
	5	<ul style="list-style-type: none"> ～月1回実行委員会開催～
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・会場視察・打ち合わせ、ゲスト決定
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム、フライヤー、ポスター、パンフレットなど広報物企画打ち合わせ
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・会場装飾物発注
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報物、装飾物、揃う
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・会場打ち合わせ
		<ul style="list-style-type: none"> ・フライヤー、ポスター配布開始
	<ul style="list-style-type: none"> ・市長、教育長、社協、衆議院、府・市議会議員など式典への参加依頼 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・会場と最終打ち合わせ 	
11	<ul style="list-style-type: none"> ・本番 	

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： ハートフルフェスタ2020

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	300,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	300,000	協賛金（各加盟事業所への）
自主財源	38,000	令和2年度行事費
合計	638,000	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	170,000	出演料、手話通訳・筆記通訳士、撮影、司会
旅費	20,000	出演者・撮影・司会交通費及び駐車代
消耗品費	30,000	風船（演出用）、文具（芳名録など）、名札等（来賓者用）、花束
食料費	10,000	出演者、撮影者、司会者など昼食とお茶
印刷製本費	100,000	A4チラシ、A2ポスター、プログラム、会議資料
役務費	3,000	保険
委託料	15,000	警備員
使用料	270,000	弥生の風ホール（機材・控室、オペレーター代含む）、プロジェクターレンタル
食糧費（対象外）	20,000	スタッフ昼食等
合計	638,000	
対象経費	618,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ） ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

〔 3役会議、役員会を開催し、補正予算を組み団体からの支出を増やす。 〕

〔 各加盟事業所からの負担金の協力を求める。 〕

〔 報償費の減額を依頼、チラシの内容や枚数などの変更で経費を削減します。 〕